

平成29年度

農業委員会事務局 組織目標設定シート

| 組織の方針 | 今年度の目標設定 | | |
|---|---|---|--|
| A 組織の方針(使命) | B 重点目標項目 | C 設定理由・考え方 | D 活動(手段) |
| <p>組織の基本方針又は使命</p> <p>農業委員会の適正な運営及び耕作放棄地を解消し農地の最適化を促進させる。</p> | <p>組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に</p> <p>1. 農業委員会の適正な運営管理</p> <p>2. 農業委員会新体制に対する対応</p> <p>3. 農地利用の最適化の推進</p> <p>4. 適正な転用事務の遂行</p> | <p>どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか</p> <p>•職員としての研鑽に努め、各委員のサポートを十分し、委員会が適正に判断ができるようにする。</p> <p>•法改正後、両委員での体制のスタートの年であり、新任委員も多い中、委員としての任務が遂行できるよう体制を整備する。</p> <p>•農地利用の最適化の指針を作成し、農地を担い手に集積・集約する。新規集約面積4haを目標とする。</p> <p>•新任委員も含めた両委員に、制度の周知・理解を深めていただき、適正な転用事務を遂行する。</p> | <p>重点目標項目を実現するため行う活動や手段</p> <p>•京都府農業会議等が開催する研修会に積極的に参加する。また、補助金制度を適正に運用する。</p> <p>•各種研修会、会議への参加をサポートし、委員としての資質向上に寄与すると共に、新体制後の組織運営体制を整える。</p> <p>•基盤強化法に基づく利用権設定の推進と中間管理機構との連携に努める。</p> <p>•各種研修会、会議への参加をサポートし、委員としての資質向上に寄与すると共に、各事案毎に十分に相談・協議を行う。</p> |